

(定 例)

(報告 田 中)

小樽山 (1,713m) 奥秩父前衛

【日時】平成25年12月8日(日)

【メンバー】P&L 中込/田中

深谷、簗島、飯田、佐野、阿部、中村
東川、小川国、池ヶ谷、宗像

(計12名)

【行動記録】

大宮(6時15分)―(圏央道・中央道)

―勝沼IC―保険農園フフ山梨―林道途中

P(出発9時17分)…(父恋し道)…

大沢山頭(10時52分)…幕岩(11

時7分~38分)…小樽山(12時20分~48分)…(母恋し道)…P(13時

43分)―「花かげの湯」(14時40分~15時16分)―勝沼IC―(圏央道・

中央道)―大宮

上り 2時間22分 下り 55分 計3時間17分

【装備・食料等】

【個人】ヘッドランプ、雨具、防寒衣、コンパス、地図、ツェルト、水、昼食、
(軽アイゼン、ストック)

【感想】

高速道路を走っている間、予報に反して雲の多い空模様だった。しかし、勝沼ICを下りると青空に変わり、終始好天の中、風もなく気持ちの良いハイキングを楽しむことができた。フフ山梨に車を止め、歩き出しているハイカーを横目に3台の車は、ゲートを開けて悪路を走り、母恋し道登山口前の空地に駐車した。父恋し道の登山口からは、落ち葉に覆われた急登の道をひたすら登り、1時間半かけて大沢山頭に到着した。真っ青な空に雪を抱いた白峰三山、甲斐駒、仙丈の姿が神々しい。ここから一旦下って峠に出ると、目の前には鎖の釣り下がった幕岩が待っていた。幕岩の山頂は展望がよく、人の姿も確認できるくらいの距離に小樽山が、金峰山の姿も。富士山が見えたとの声も聞こえてくる。山頂に着いたのは12時を過ぎていたが、ほぼ計画とおりの時間だった。ゆっくりとお昼休憩をし、旗を囲んで記念撮影。今度はツツジやアヤメの季節に訪ねてみたいと思いながら山頂を後にした。

